

卒業研究および演習のシラバス新設

教務担当会議

1. 趣旨

本学における教育の内部質保証の一環として、卒業研究および演習科目について、他科目同様、科目の到達目標およびディプロマ・ポリシーとの関係が明記されたシラバスを新設する。

2. 様式

(1) 構成

すでに 2025 年度より導入が決まっている新シラバス様式に準じる。ただし「授業スケジュール」は、授業回ごとではなくおおよその時期ごとに、科目のテーマと内容を記載する。

(2) ポイント

卒業研究および演習の到達目標が明記されていることが重要。到達目標は、同時に当該科目の成績評価項目でもある(項目それぞれ達成程度は、履修規定に記載の「成績評価基準」を参照)。

到達目標の例(1)

卒業論文を執筆する。つぎの項目の達成を目標とする。

- ①問題設定と研究の目的が明確に述べられていること。
- ②先行研究のレビューが十分になされ、適切に引用されていること。
- ③新規性・特徴が明確に述べられていること。

到達目標の例(2)

青森県の〇〇業の経営実態について調査・分析する。つぎの項目の達成を目標とする。

- ①調査設計が適切であること。
- ②取材のアポイントメント等、調査の手配を適切に行っていること。
- ③成果をわかりやすく報告していること。

3. その他

2025 年度春学期より導入。